

環境保全の施策 (データ編)

第1章 生活環境

第1節 環境汚染の防止

【1】大気汚染の防止

1 大気汚染の現状

(1) 二酸化硫黄（SO₂）

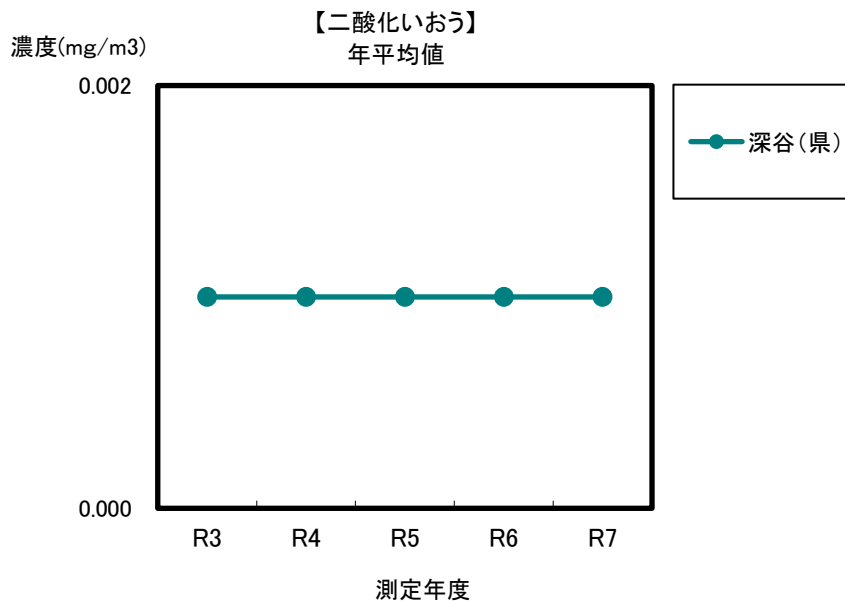
○二酸化硫黄の監視結果（環境基準の達成状況）

（令和7年度）

区分	評価		測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	長期的評価		短期的評価		
					日平均値の 2%除外値 (ppm)	日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上 連続の有無	日平均 値が 0.04ppm を超え た日数 (日)	1時間値 が 0.1ppm を超え た 時間 (時間)	1時間 値の 最高値 (ppm)
深谷 (県)	長期	○	6,949	0.001	0.002	無	-	-	-
	短期	○			-	-	0	0	0.007

長期的評価 … 年間の1日平均値のうち測定値の高い方から2%の範囲を除外した値が0.04ppmを超えず、かつ、年間を通じて1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しない場合に環境基準に適合します。

短期的評価 … 年間の1日平均値がすべての有効測定日（1日20時間以上測定が行われた日をいう。）で0.04ppm以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において0.1ppm以下の場合に環境基準に適合します。



※西福島（県）については、H22以降、測定を休止中

(2) 浮遊粒子状物質（SPM）

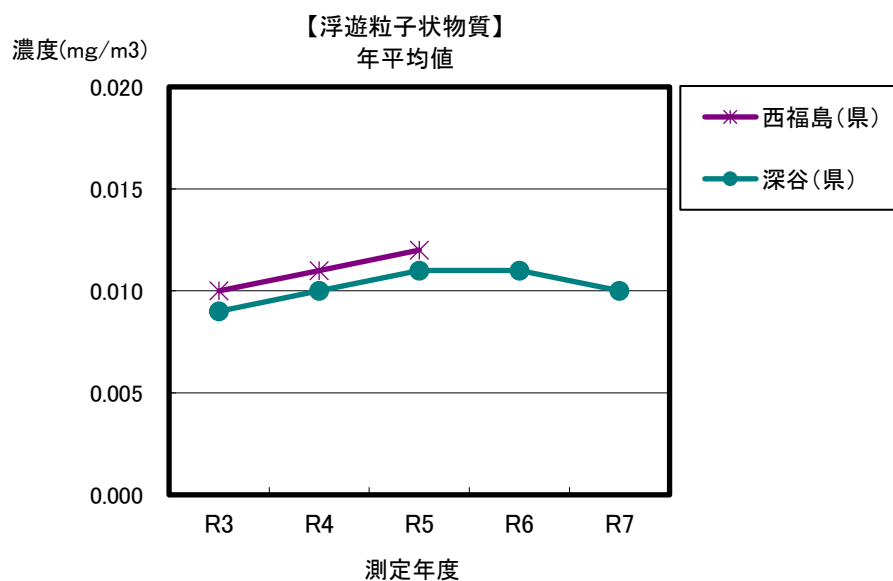
○浮遊粒子状物質の監視結果（環境基準の達成状況）

（令和7年度）

区分	評価		測定時間 (時間)	年平均 (mg/m^3)	長期的評価		短期的評価		
					日平均 値の 2% 除外値 (mg/m^3)	日平均 値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた 日が2日 以上連続 の有無	日平均 値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ を超え た 日数 (日)	1時間値 が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた 時間 (時間)	1時間値の 最高値 (mg/m^3)
深谷 (県)	長期	○	8,686	0.010	0.028	無	-	-	-
	短期	○			-	-	0	0	0.073

長期的評価 … 年間の1日平均値のうち測定値の高い方から2%の範囲を除外した値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えず、かつ、年間を通じて1日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続しない場合に環境基準に適合します。

短期的評価 … 年間の1日平均値がすべての有効測定日（1日20時間以上測定が行われた日をいう。）で、 $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下の場合に環境基準に適合します。



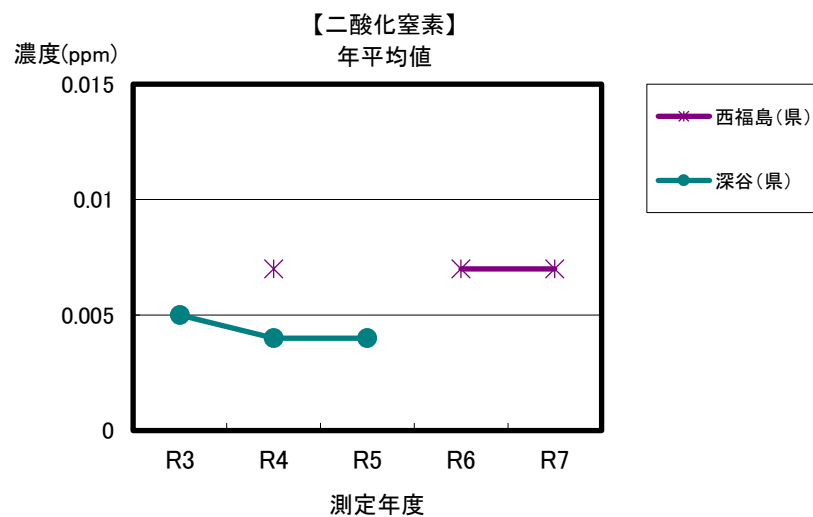
(3) 二酸化窒素 (NO₂)

○二酸化窒素の監視結果（環境基準の達成状況）

（令和7年度）

区分	評価	総測定時間数 (時間)	平均値 (ppm)	日平均値の 年間 98%値 (ppm)	日平均値が 0.06ppm を 超えた日数 (日)
西福島 (県)	○	7,235	0.007	0.019	0

評価 … 年間の1日平均値のうち、低い方から数えて98%目に当たる値（1日平均値の年間98%値）が0.06ppm以下の場合に基準に適合します。



※西福島（県）のR1～R3は、測定値なし、R5値は年間測定時間不足

(4) 光化学オキシダント (O_x)

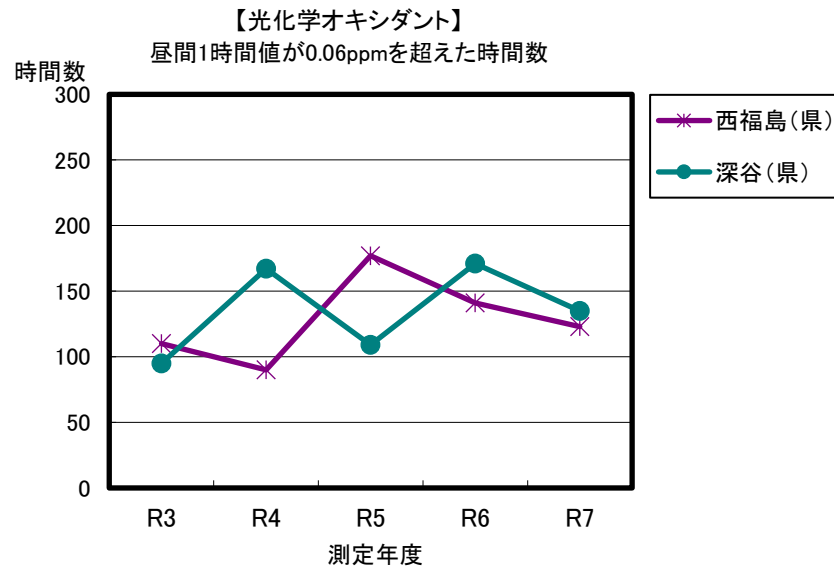
○光化学オキシダントの監視結果（環境基準の達成状況）

（令和7年度）

区分		評価	昼間の 総測定 時 間	年平均値	1 時間値の 最高値	1 時間値が 0.06ppm を 超えた時間
西福島 (県)	R3	×	5,426	0.035	0.079	90
	R4	×	5,426	0.034	0.089	177
	R5	×	5,453	0.035	0.085	141
	R6	×	5,438	0.034	0.077	123
	R7	×	5,434	0.032	0.082	69
深谷 (県)	R3	×	5,429	0.036	0.082	95
	R4	×	5,436	0.035	0.081	167
	R5	×	5,409	0.035	0.080	109
	R6	×	5,305	0.037	0.077	171
	R7	×	5,439	0.036	0.081	135

※環境基準：昼間（午前5時から午後8時までの時間帯）の1時間値が、0.06ppm 以下の場合適合

評価 … 昼間（午前5時から午後8時）の1時間値の最高値が0.06ppm 以下である場合に基準に適合します。



2 大気汚染の対策

○粉じん対策に関する届出

年度	件数	内訳		
		設置	変更	廃止
令和 3 年度	6	1	3	2
令和 4 年度	2	1	0	1
令和 5 年度	3	0	2	1
令和 6 年度	2	0	1	1
令和 7 年度	3	1	2	0

【2】騒音・振動、悪臭の防止

1 騒音・振動の状況

(1) 住居地域における騒音

○環境騒音測定結果

（令和7年度）

区 分		基準値（dB）		適合率（％）	
		昼 間 6時～22時	夜 間 22時～6時	昼 間	夜 間
一般地域	A 地域	55	45	100（2/2）	50（1/2）
	B 地域	55	45	100（2/2）	100（2/2）
	C 地域	60	50	100（2/2）	100（2/2）
	全体 （A+B+C）	—	—	100（6/6）	83（5/6）

（注）（ ）内は環境基準適合地点数／測定地点数

(2) 高速自動車道における騒音

○高速自動車道騒音測定結果

（令和7年度）

区分	調査地点	基準値（dB）		結果（dB）		適合率（％）	
		昼 間 （6時～22時）	夜 間 （22時～6時）	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
北陸 自動車道	柿崎区山谷	65	60	57	52	100	100
	大潟区九戸浜	70	65	53	49		
	頸城区手宮	65	60	53	50		
	春日山町1丁目	70	65	56	51		
	名立区名立小泊	65	60	54	52		
	向 橋	65	60	46	45		

(3) 自動車道における騒音

①自動車道における騒音測定結果

(令和7年度)

測定路線及び地点数	結果(適合戸数/評価戸数)
上信越自動車道、一般国道8号・253号、一般県道のうち沿道9地点で実音測定	100% (2,656戸/2,656戸)

②環境基準値超過区間

(令和7年度)

路線名	環境基準値を超過した区間
なし	なし

(4) 自動車道における振動

○道路交通振動測定結果

(令和7年度)

区 分	調査地点	基準値		結果 (dB)	
		昼間	夜間	昼間	夜間
上信越自動車道	中郷区二本木	8時～20時 70	20時～8時 65	30	30
	上門前	8時～20時 70	20時～8時 65	30	30
一般国道18号	中郷区市屋	8時～20時 70	20時～8時 65	40	31
	中郷区坂本	8時～20時 70	20時～8時 65	35	31
	岡原	8時～20時 70	20時～8時 65	39	32
一般国道253号	浦川原区釜淵	8時～20時 70	20時～8時 65	47	35
	大島区大平	8時～20時 70	20時～8時 65	31	30
一般県道板倉直江津線	下門前	8時～19時 65	19時～8時 60	37	32
市道市役所大通り大豆線	春日山町3丁目	8時～19時 65	19時～8時 60	44	33

※規制基準の値及び時間帯は、地域によって異なります。

(5) 建設作業の騒音・振動

○特定建設作業届出件数

作業区分		年度				
		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
騒音 関係	くい打機 くい抜機	1	4	2	5	0
	びょう打機	0	2	0	0	0
	さく岩機	20	24	16	18	20
	空気圧縮機	0	2	0	0	0
	コンクリート プラント	0	0	0	0	0
	ブルドーザー トラクターショベル バックホウ	7	11	4	0	0
	合計	28	43	22	23	20
振動 関係	くい打機 くい抜機	1	5	2	6	1
	鋼球破壊	0	0	0	0	0
	舗装版破碎機	0	0	0	0	0
	ブレーカー	18	21	14	16	15
	合計	19	26	16	22	16

(6) 工場及び事業場騒音

○協定工場基準遵守状況

区分\年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
立入延件数	90	90	84	84	78
基準遵守状況	88	88	81	80	77
遵守率(%)	98	98	96	95	99

(7) 新幹線による騒音

○新幹線騒音測定結果

(令和7年度)

区分	調査地点	基準値	騒音測定値 (dB)
北陸新幹線	向橋	70	73

【3】水質保全・排水処理対策の推進

1 水質汚濁の現状

(1) 河川の水質

① 水質の調査結果（河川の BOD75%値、海域・湖沼の COD75%値）

水質汚濁防止法に基づく常時監視

・河川

（令和7年度）

河川名	測定地点	類型	基準値 (mg/L)	結果 (BOD) (mg/L)
渋江川	川倉地先	AA	1 以下	0.5
矢代川	瀬渡橋上流	AA	1 以下	0.8
保倉川	保倉川橋上流	A	2 以下	0.8
	吉野橋	A	2 以下	0.6
	三分一橋	A	2 以下	0.9
柿崎川	黒川橋	A	2 以下	0.8
	柿崎橋	A	2 以下	1.1
矢代川	新箱井橋	A	2 以下	0.7
飯田川	川浦橋上流	A	2 以下	0.7
	千福橋	A	2 以下	1.5
名立川	名立大橋	A	2 以下	0.9
吉川	下條橋	B	3 以下	0.9
青田川放水路	丸山橋	-	-	0.9※1

※1 …平均値

・海域

（令和7年度）

海域名	測定地点	類型	基準値 (mg/L)	結果 (COD) (mg/L)
直江津海域	No. 20	A	2 以下	1.6
	No. 17	A	2 以下	1.8
	No. 22	A	2 以下	1.7
	No. 23	A	2 以下	1.5
	No. 24	A	2 以下	1.9
西頸城地先 海域	No. 1	A	2 以下	1.8

② 独自調査結果（市及び関川をきれいにする連絡会）

・河川

（令和7年度）

河川名	測定地点	類型	基準値（mg/L）	結果（BOD）（mg/L）
飯田川	飯田橋	A	2以下	0.5
儀明川	向橋地内	—	—	<0.5
大瀬川	滝寺地内	—	—	0.5
御館川	轟木橋	—	—	1.1
桑取川	有間川橋	—	—	1.0
岩戸川	河口	—	—	0.5
保倉川	長者島橋	A	2以下	0.6
新堀川	ポンプ場上流	—	—	2.2※2
潟川	五便橋	—	—	3.7
渋江川	信濃渡橋	AA	1以下	0.6

飯田橋、信濃渡橋は関川をきれいにする連絡会、他は市独自の測定地点

※1…平均値 ※2…実測値（測定1回のみ）

・湖沼

（令和7年度）

湖沼名	測定地点	類型	基準値（mg/L）	結果（COD）（mg/L）
坂田池	帰雁荘脇	—	—	3.8※2
	橋立亭前	—	—	3.6※2
御手洗池	—	—	—	12※2
朝日池	坂ノ下	—	—	26※1
	内雁子	—	—	12※1
鵜の池	中央	—	—	8.7※2
中谷内池	東側	—	—	5.2※2

全て市独自の測定地点

※1…平均値 ※2…実測値（測定1回のみ）

(2) 水質汚濁事故

○水質汚濁事故の内訳

令和7年度は5件の水質汚濁事故が発生しました。

区分	区分の内訳	件数
事故種類	油流出	5
	変色	0
	その他	0
発生源	個人	0
	事業所	3
	車両	1
	その他・不明	1
事故原因	ホームタンクからの灯油漏洩等の不注意	0
	施設や設備の管理及び操作ミス	0
	交通事故（自損事故を含む）	1
	不法投棄	0
	地震	3
	原因が特定できなかったもの	1

(3) 水銀汚染

① 関川の魚類の水銀調査結果

令和7年度は、暫定的規制値の超過はありませんでした。

区 域	魚 類	総水銀				
		最高 (ppm)	最低 (ppm)	平均 (ppm)	0.4ppm を 超えた割合	
					6 年度	7 年度
関川上流	ウグイ	0.12	0.05	0.08	0/6	0/6
関川中流	ウグイ	0.15	0.07	0.11	0/10	0/10
関川下流	ウグイ	0.17	0.06	0.10	0/6	0/11
	フ ナ	0.11	0.02	0.04	0/6	0/1
	ニゴイ	0.09	0.03	0.06	0/3	0/3
	オイカワ	—	—	—	—	—
渋江川	ウグイ	0.19	0.09	0.13	0/5	0/5
矢代川	ウグイ	0.14	0.12	0.13	0/3	0/3
櫛池川	ウグイ	0.15	0.08	0.11	0/5	0/5
保倉川	ウグイ	0.16	0.09	0.13	0/3	0/3
	フ ナ	0.08	0.04	0.06	0/3	0/3
	ニゴイ	0.06	0.02	0.04	0/3	0/3
計		—	—	—	0/53	0/53

(注) 割合＝超過検体数／調査検体数 (注) 割合＝超過検体数／調査検体数

アルキル水銀含有量は、総水銀含有量が 0.4 mg/kg を超過した場合のみ分析

※魚介類の水銀の暫定的規制値

(昭和48年7月23日付環乳第99号厚生省環境衛生局長通達抜粋)

魚介類の水銀の暫定的規制値は総水銀としては0.4ppmとし、参考としてメチル水銀0.3ppm(水銀として)とした。ただし、この暫定的規制値は、マグロ類(マグロ、カジキ及びカツオ)及び内水面水域の河川産の魚介類(湖沼産の魚介類は含まない)については適用しないものである。

② 底質調査結果

事業場の排水口周辺の底質は、年度、検体ごとのばらつきは認められますが、令和7年度は最高が1.0ppmであり、環境省が示す暫定除去基準（25ppm）を超える地点はありませんでした。

（単位：ppm）

測定地点\年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
白田切川	7.2	7.2	3.8	3.8	3.8
渋江川 （日本曹達(株)西ヶ窪排水口直下）	0.30	0.23	0.18	1.1	0.60
関川 （日本曹達(株)東木島排水口直下）	0.09	0.08	0.14	0.02	0.81
渋江川 （(株)ダイセル排水口上流200m）	0.25	0.25	0.14	0.14	0.04
渋江川 （(株)ダイセル排水口上流高柳橋）	0.39	0.39	0.04	0.04	0.03
渋江川 （(株)ダイセル排水口直下）	0.21	0.21	0.28	0.28	1.0
保倉川 （信越化学工業(株)排水口直下）	0.01	0.01	0.01	0.09	0.01

（注）白田切川の底質は3.8ppmで、非汚染地域の河川底質の水銀濃度（通常0.2ppm以下、その多くは0.05ppm前後）を超えており、自然的原因によることを示している。

※底質の暫定除去基準

（昭和50年10月28日付環水管第119号環境庁水質保全局長通達抜粋）

水銀を含む底質の暫定除去基準（底質の乾燥重量当たり）は、海域においては次式より算出した値（C）以上とし、河川及び湖沼においては25ppm以上とする。ただし、潮汐の影響を強く受ける河口部においては海域に準ずるものとし、沿岸流の強い海域においては河川及び湖沼に準ずるものとする。

$$C=0.18 \cdot \frac{\Delta H}{J} \cdot \frac{1}{S} (\text{ppm}) \quad \left\{ \begin{array}{l} \Delta H=\text{平均潮差(m)} \\ J=\text{溶出率} \\ S=\text{安全率} \end{array} \right.$$

2 水質汚濁の対策

(1) 公共下水道の整備・接続促進

○公共下水道の整備状況

（令和8年3月末時点）

年度	行政人口 A (人)	処理区域人口 B (人)	水洗化人口 C (人)	接続率 D C/B (%)	普及率 E B/A (%)
令和3	185,892	120,193	114,592	95.3	64.7
令和4	184,082	121,535	116,239	95.6	66.0
令和5	181,512	121,177	115,837	95.6	66.8
令和6	179,384	120,814	115,666	95.7	67.3
令和7	176,811	119,844	114,859	95.8	67.8

(2) 農業集落排水施設への接続促進

○農業集落排水施設の整備状況

（令和8年3月末現在）

年度	行政人口 A (人)	処理区域内人口 B (人)	水洗化人口 C (人)	接続率 D C/B (%)	普及率 E B/A (%)
令和3	185,892	29,806	28,163	94.5	16.0
令和4	184,082	28,049	26,609	94.9	15.2
令和5	181,512	27,045	25,863	95.6	14.9
令和6	179,384	26,519	25,382	95.7	14.8
令和7	176,811	26,023	24,948	95.9	14.7

(3) 合併処理浄化槽の普及促進

○合併処理浄化槽の設置支援事業実績

年度	申請件数 (件)	補助金交付額 (万円)
令和3	60	2,642
令和4	75	3,157
令和5	85	7,463
令和6	95	8,846
令和7	68	5,660

(4) 工場及び事業場の対策

① 特定事業場からの排出水の監視結果

年度	立入延件数 (件)	適合延件数 (件)	適合率 (%)
			市
令和 3	106	103	97.2
令和 4	104	101	97.1
令和 5	98	96	98.0
令和 6	98	96	98.0
令和 7※	39※	38	97.4

※採水を伴う立入件数

② 特定事業場からの排出水の排水基準抵触の項目

項目	年 度				
	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
pH(水素イオン濃度)	1	1	2	2	
BOD(生物化学的酸素要求量)	1	2		1	1
COD(化学的酸素要求量)					
SS(浮遊物質)		2			
抽出物質					
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物					
フェノール					
銅					
亜鉛					
クロム					
ふっ素					
大腸菌群数	1	1			
シアン					
鉛					
六価クロム	1				
総水銀					
トリクロロエチレン					
テトラクロロエチレン					
1,1,1-トリクロロエタン					
1,2-ジクロロエタン					
ジクロロメタン					
合 計	4	6	2	3	1

3 し尿処理の状況

① し尿処理状況

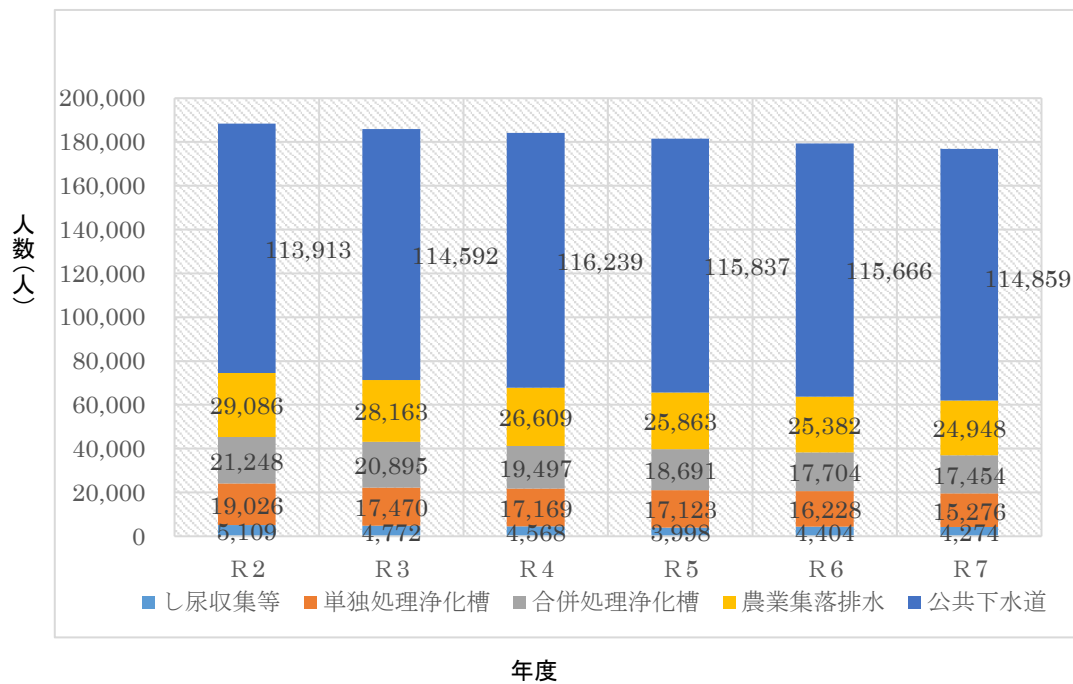
（令和7年度）

区 分			人数（人）	割合（%）
計画処理区域内人口			176,811	-
水洗化人口	生活雑排水 処理人口	公共下水道	114,859	65.0
		農業集落排水施設	24,948	14.1
		合併処理浄化槽	17,454	9.9
	生活雑排水 未処理人口	単独処理浄化槽	15,276	8.6
非水洗化人口（し尿収集等人口）			4,274	2.4

（注）汚水衛生処理率（公共下水道＋農業集落排水＋合併処理浄化槽）／計画処理区域内人口

※ 令和7年度の実績は、ガス水道局下水道課の「浄化槽等処理人口調査」の数値を用いている。

② 年度別し尿処理状況



③ し尿収集の状況

区分\年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
し尿収集量（kL）	5,662	5,490	5,167	4,979	4,657
浄化槽汚泥収集量（kL）	46,750	43,472	42,514	41,131	41,929
計	52,412	48,962	47,681	46,110	46,586

【4】地下水の保全、土壌汚染の防止

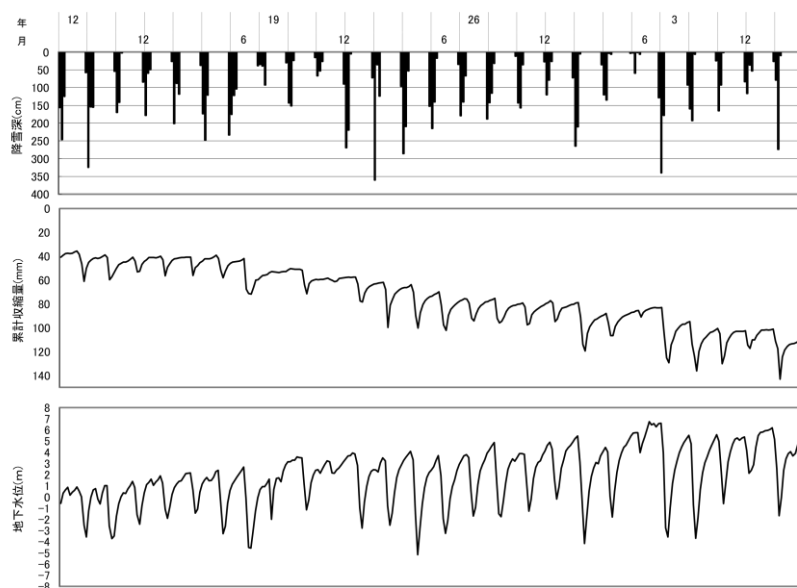
1 地盤沈下の現状

(1) 地下水位と地層収縮量

① 高田城址公園 G4 層観測井観測記録

令和6年度							令和7年度						
月	降雪量 (cm)	水位 (m)			収縮量 (mm)		月	降雪量 (cm)	水位 (m)			収縮量 (mm)	
		最高	最低	平均	月間	累計			最高	最低	平均	月間	累計
4	－	5.09	3.71	4.46	-3.86	106.37	4	－	2.94	1.48	2.37	-5.96	118.55
5	－	5.83	5.09	5.49	-2.37	104.00	5	－	3.72	2.94	3.40	-3.07	115.48
6	－	5.90	5.68	5.76	-2.02	101.98	6	－	4.02	3.71	3.88	-1.57	113.91
7	－	5.84	5.72	5.80	-0.20	101.78	7	－	4.11	4.00	4.04	-0.50	113.41
8	－	6.04	5.82	5.91	-0.09	101.69	8	－	4.04	3.30	3.67	-0.31	113.10
9	－	6.05	5.84	5.95	0.18	101.87	9	－	4.34	3.33	3.91	-0.91	112.19
10	－	6.16	5.97	6.05	-0.20	101.67	10	－	5.01	4.34	4.65	-1.20	110.99
11	－	6.26	6.07	6.18	-0.61	101.06	11	－	5.27	4.97	5.12	-0.80	110.19
12	26	6.30	2.58	5.16	10.28	111.34	12	19	5.47	3.90	4.97	1.87	112.06
1	79	3.75	0.83	2.49	6.06	117.40	1	330	3.78	-4.94	-0.26	39.59	151.65
2	274	2.29	-4.49	-1.68	25.63	143.03	2	91	-0.84	-5.56	-2.87	-10.79	140.86
3	10	1.47	-2.14	-0.04	-18.52	124.51	3	7	1.59	-0.83	0.41	-10.17	130.69

② 地下水位・地層収縮経年推移



- ・地盤の収縮は冬期間に進行し夏期間に回復します。ただし、長期的には地盤は収縮しています。
- ・地下水位は冬期間に大量の地下水の汲上げにより低下し夏期間には回復します。

(2) 地下水揚水量

○上越地域全体の県条例対象揚水設備の揚水量

（単位：万 m³）

区分\年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
年間揚水量	496	458	511	514	577
冬期間（12～3月）揚水量	244	205	205	228	220

(3) 水準測量

上越地域は国土交通省、新潟県、上越市が分担し、合計 150km の路線について水準測量を実施しました。上越市はそのうち 1 級路線 7.6km、2 級路線 58km を担当しました。

○水準測量結果（沈下面積及び最大沈下量）

沈下量 期間 (年月)	上越地域全体							
	沈下量区分							最大沈下量 (mm)
	0～ 10mm	10～ 20mm	20～ 30mm	30～ 40mm	40～ 50mm	50～ 60mm	計 km ²	
20.9～21.9	176.63						176.63	8（頸城区城野腰）
21.9～22.9	172.14	5.73					177.87	17（大字東稲塚新田）
22.9～23.9	158.57	0.73					159.30	12（新南町）
23.9～24.9	141.91	46.74	2.02	0.03			190.70	30（新南町）
24.9～25.9	49.05						49.05	10（新南町）
25.9～26.9	70.44						70.44	6（遊光寺浜）
26.9～27.9	148.59	31.42	0.01				180.03	20（子安）
27.9～28.9	58.80						58.80	3（下門前）
28.9～29.9	25.70						25.70	5（大潟区渋柿浜）
29.9～30.9	149.07	38.97	2.65				190.70	28（子安新田）
30.9～元.9	53.95						53.95	5（柿崎区馬正面）
元.9～2.9	5.72						5.72	2（大潟区渋柿五ヶ割）
2.9～3.9	110.32	72.60	0.18				190.70	32（子安）
3.9～4.9	162.73	22.90	0.29				185.91	22（子安）
4.9～5.9	7.49						7.49	8（大潟区高橋新田）
5.9～6.9	25.35						25.34	5（仲町3丁目）
6.9～7.9	165.25	19.18					184.43	14（下門前、鴨島三丁目）

2 地盤沈下の対策

(1) 地下水採取に関する規制

○揚水設備数

（単位：本）

区分／年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
県条例対象揚水設備	318	316	312	310	309
市条例対象揚水設備	20,468	20,516	20,544	20,568	20,605

(2) 地盤沈下緊急時対策

○地盤沈下緊急時の注意報・警報発令月日

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
注意報の発令月日	12/31	1/27	—	2/4	1/3
警報発令月日	1/20	—	—	2/6	1/22

3 地下水汚染の現状と対策

(1) 地下水の水質の現状

○水質汚濁防止法に基づく常時監視

（令和7年度）

区分\年度	調査 地点数	環境基準 超過の有無	基準超過の概要
概況調査	4	なし	—
継続監視調査	5	あり	石 橋：クロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン

【5】化学物質等による汚染の防止

1 空間線量率

(1) 上越地域の各消防署における空間線量率

○上越地域の各消防署における空間線量率測定結果の概要

測定を開始した平成24年6月1日から令和8年3月31日まで、1時間当たり0.016～0.16 μ Svの通常範囲を超えた数値を測定した実績はありません。

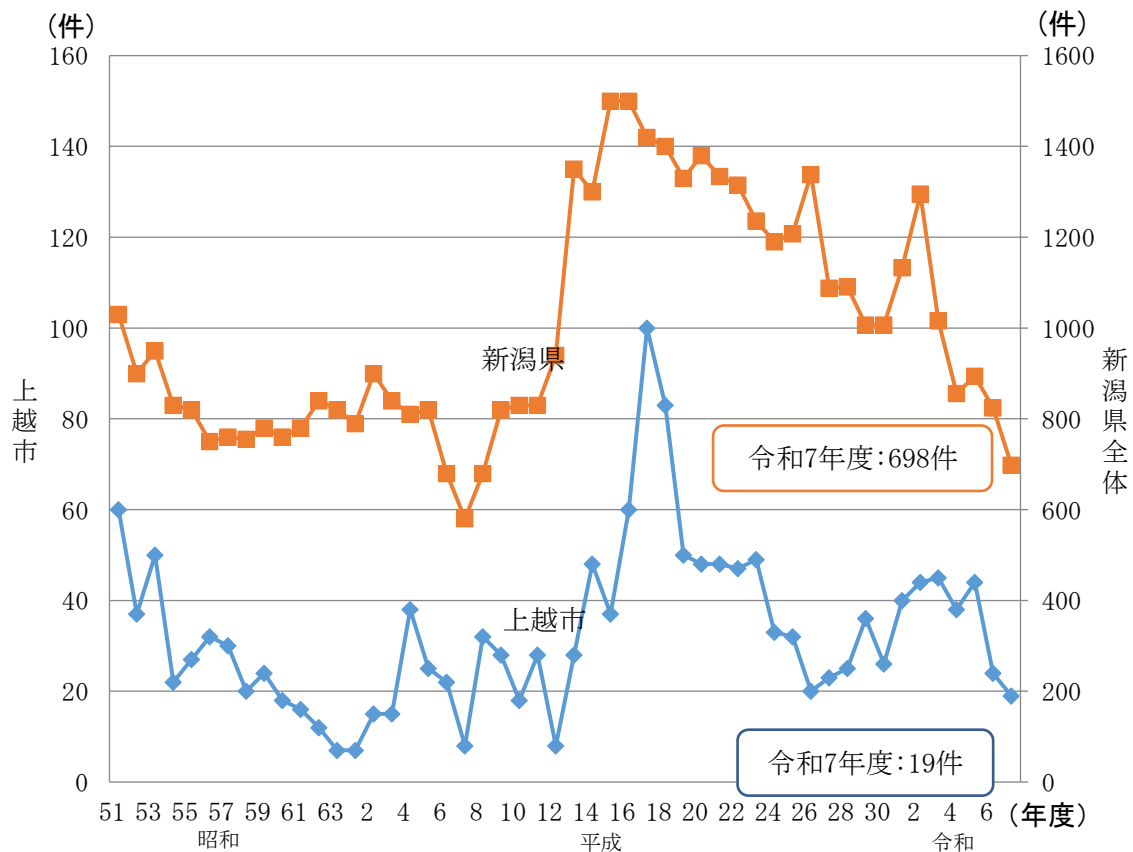
【6】公害苦情や防止に関する取組

1 公害苦情処理等

(1) 公害苦情の発生状況

○公害苦情件数年度推移

昭和48年度の142件を最高に年々減少傾向で推移しています。令和7年度は19件でした。



(2) 公害苦情の処理状況

○公害苦情受理状況

（単位：件）

年度	合計		典型七公害							典型七公害以外	処理率 (%)
			大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭		
令和3	受理 件数	45(6)	1	4	0	14(4)	2(1)	0	15(1)	9	98.0
	処理 件数	45(5)	1	4	0	14(4)	2(1)	0	15(0)	9	
令和4	受理 件数	38(1)	2	2	0	12	0	0	19(1)	3	97.4
	処理 件数	38(0)	2	2	0	12	0	0	19(0)	3	
令和5	受理 件数	44(1)	0	5	0	20	3	0	10(1)	6	95.6
	処理 件数	43(0)	0	5	0	20	2	0	10(0)	6	
令和6	受理 件数	24(2)	1	2	0	15	1(1)	0	5(1)	0	96.2
	処理 件数	24(1)	1	2	0	15	1(1)	0	5(0)	0	
令和7	受理 件数	19(1)	0	1	0	11	2	0	5(1)	0	95.0
	処理 件数	19(0)	0	1	0	11	2	0	5(0)	0	

注：（ ）は前年度からの繰越件数。

2 公害防止に向けた取組

(1) 公害防止統括者及び公害防止管理者等の選任状況

○公害防止統括者及び公害防止管理者等の選任状況

（令和8年3月末時点）

区 分		県全体				市			
特定工場数		692				54			
公害防止統括者		415				41			
公害防止主任管理者		8				1			
公害防止 管理者	種類	第1種	第2種	第3種	第4種	第1種	第2種	第3種	第4種
	大気関係	7	1	46	75	3	0	11	11
	水質関係	5	222	7	18	2	16	1	0
	騒音関係	161				3			
	特定粉じん関係	0				0			
	一般粉じん関係	83				9			
	振動関係	164				3			
	ダイオキシン類関係	9				5			

公害防止管理者 … 国が行う公害防止管理者等国家試験の合格者、または、国家試験に合格した者と同等の資格を付与する資格認定講習の修了者

上越地区環境保全協議会 … 公害防止技術並びに公害関係法令等の研修習得を図り、上越地区における公害防止対策の推進、生活環境の保全を図ることを目的としています。会員は43社（市内は35社）です。

第2節 生活環境の維持・向上

【1】ごみの適正処理の推進

(1) ごみ処理の状況

①ごみの排出状況

区分／年度			令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
計画処理区域内人口（人）			187, 478	185, 357	183, 334	180, 819	178, 484
総 排 出 量（t）*集団回収含む			64, 186	63, 774	61, 018	60, 532	58, 682
内 訳 （t）	系統 別	生活系ごみの排出量	42, 604	42, 592	40, 432	39, 596	38, 351
		事業系ごみの排出量	21, 582	21, 182	20, 586	20, 936	20, 331
	種類 別	燃やせるごみ	43, 833	44, 483	42, 463	43, 452	42, 517
		燃やせないごみ	4, 726	4, 094	4, 007	3, 951	3, 725
		資源物	15, 525	14, 906	14, 306	12, 903	12, 276
		有価物集団回収量	102	291	242	226	164
ごみの一人一日当たり排出量（g/日）			938	943	909	917	901

（注）生活系ごみとは、日常生活に伴って各家庭から排出されるごみをいい、事業系ごみとは、事業者が自ら処理施設へ直接搬入するごみ等です。

（注）有価物集団回収量は事業者への聞き取りにて計上しています。

（注）計画処理区域内人口は毎年度9月末の数値を使用しています。

②ごみの処理状況

（単位：t）

区分／年度		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
計画処理区域内総処理量		64,186	63,774	61,018	60,532	58,682
内訳	焼却	48,170	48,458	46,450	47,323	46,216
	資源化 *集団回収含む	16,016	15,316	14,568	13,209	12,466

（注）有価物集団回収量は事業者への聞き取りにて計上しています。

(2) 農業用廃棄物の処理（畦シート・ハウスビニール等）

○農業用廃棄物の回収実績

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
農業用ポリ・塩化ビニール等（t）	189	100	177	199	177
育苗箱（個）	154,000	29,000	46,600	54,200	45,563
廃農薬（t）	13	3.3	6.5	8	6.4

【2】環境美化の推進

(1) 全市クリーン活動の実施

○全市クリーン活動の実施実績

年度\区分	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
参加団体数	1,744	1,724	1,751	1,705	1,639
参加人数（人）	55,445	59,576	59,033	58,563	55,388
回収量（kg）	99,948	113,527	96,635	112,968	109,441

(2) 不法投棄の状況

①不法投棄物回収実績

（単位：t）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
回収量	22	18	17	14	14

②家電リサイクル法対象品目の不法投棄物回収実績

（単位：台）

品目\年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
テレビ	20	10	14	22	20
冷蔵庫	10	3	4	2	4
洗濯機	8	1	5	10	4
エアコン	6	0	0	0	0
計	44	14	23	34	28

③不法投棄及び野焼きの対応件数

（単位：件）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
不法投棄	265	116	69	117	107
野焼き	59	43	14	32	40

(3) ごみヘルパー事業

○ごみヘルパー事業実績

区分／年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
支援世帯（世帯）	68	75	84	96	94
ヘルパー委嘱数（人）	66	69	81	91	85

第2章 自然環境

第1節 自然環境との共生

【1】生物多様性の保全

(1) 鳥獣保護管理

○ツキノワグマ目撃件数

（単位：件）

年度	件数	場 所
令和3	54	合併前の上越市(6)、安塚区(3)、浦川原区(1)、大島区(2)、牧区(12)、柿崎区(1)、吉川区(2)、中郷区(4)、板倉区(3)、清里区(4)、三和区(3)、名立区(13)
令和4	52	合併前の上越市(8)、安塚区(3)、浦川原区(2)、大島区(1)、牧区(9)、吉川区(4)、中郷区(8)、板倉区(4)、清里区(1)、三和区(8)、名立区(4)
令和5	75	合併前の上越市(14)、安塚区(7)、浦川原区(5)、大島区(3)、牧区(6)、柿崎区(11)、吉川区(6)、中郷区(4)、板倉区(4)、清里区(3)、三和区(4)、名立区(8)
令和6	91	合併前の上越市(14)、安塚区(8)、浦川原区(1)、大島区(7)、牧区(12)、柿崎区(5)、頸城区(1)、吉川区(3)、中郷区(15)、板倉区(3)、清里区(3)、三和区(11)、名立区(8)
令和7	101	合併前の上越市(22)、安塚区(4)、浦川原区(6)、大島区(5)、牧区(5)、柿崎区(6)、頸城区(2)、吉川区(3)、中郷区(25)、板倉区(5)、清里区(2)、三和区(12)、名立区(4)

詳細は、市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kankyo/kinkyuzi-bear.html>

【2】環境に配慮した事業活動の推進

(1) 開発行為の対策

① 環境影響評価の実施件数

（単位：件）

年度	件数	事業名
令和3	0	—
令和4	0	—
令和5	1	上越地区産業廃棄物最終処分場整備事業
令和6	0	—
令和7	2	上越地区産業廃棄物最終処分場整備事業 保倉川放水路整備事業（仮称）

② 上越市水道水源保護条例に基づく事前協議の件数（単位：件）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
件数	0	0	0	0	0

第2節 自然環境の活用

【1】緑地・公園の活用

(1) 施設等の整備

○南葉高原キャンプ場利用人数

(単位：人)

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
人数	10,444	10,882	10,671	9,508	8,496

(2) 自然観察活動

○上越科学館における自然観察教室

(令和7年度)

事業名	実施日	会場	内容	参加者数 (人)
植物観察 教室	4月6日	薬師山周辺	スミレサイシン、カタクリ、エンレイソウ等の観察のほか、クロサンショウウオやイモリも観察できました。	10
野鳥観察 教室	5月11日	春日山周辺	曇り空の強風が吹く中での観察でしたが、風の影響が少ない場所を探しながら探鳥し、アオゲラやオオルリなど22種類の鳥を観察することができました。	20
地層観察 教室	6月7日	板倉区	「板倉のおいしい清水と石炭をゲットしよう」をキャッチフレーズとし、板倉区青葉周辺や山寺薬師、地滑り資料館などを訪問しました。高田平野の地形や板倉区宮島東方の端にある露頭、板倉区国川の地滑りの規模や被害などを観察しました。	14
昆虫観察 教室	7月27日	二貫寺の森	カブトムシやクワガタなどを求めて、暑さの中、全員が時間いっぱい動き回りました。	17
冬の星座 観察会	3月14日・ 22日	金谷山	荒天のため2回の実施にとどまりました。金谷山公園リフト乗り場周辺で行い、木星やオリオン座、スバル、ふたご座などの観察を行うことができました。また、人工衛星が頻繁に天空を横切る様子も観察できました。	8

(3) 啓発等の活動

① みどりのフェスティバルの実施内容

年度	開催日	来場者数（人）	会場等
令和3	10月16日	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	高田城址公園
令和4	10月15日	約4,100	
令和5	4月29日	約4,950	
令和6	4月27日	約4,000	
令和7	4月26日	約4,000	

② 市内の緑の少年団の設置状況

（令和7年度）

団名	団員構成	団員数（人）
中郷緑の少年団	中郷中学校1～3年生	60
牧緑の少年団	牧小学校1～6年生	24
上越緑の少年団	上越市の小学校4～6年生	28
合計		112

(4) 森林

① 市内の森林整備面積

（単位：ha）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
整備面積	364	295	363	453	318

② 浄水場見学参加人数

（単位：人）

年度		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
浄水場見学会 参加者	夏	0(中止)	241	183	232	262
	秋	196	230	129	73	106
	計	196	471	312	305	368

(5) 市民の森

①くわどり市民の森利用人数

(単位：人)

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
人数	5,557	6,454	4,316	3,883	4,118

②二貫寺の森利用人数

(単位：人)

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
人数	307	578	553	676	889

(6) 都市公園

①都市公園の整備状況

(令和8年3月末時点)

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
総合公園	2 (74.5)	2 (74.5)	2 (74.5)	2 (74.5)	2 (74.5)
地区公園	2 (8.5)	2 (8.5)	2 (8.5)	2 (8.5)	2 (8.5)
近隣公園	5 (6.3)	5 (6.3)	5 (6.3)	5 (6.3)	5 (6.3)
街区公園	128 (27.8)	129 (28.3)	129 (28.3)	129 (28.3)	129 (28.3)
運動公園	3 (32.2)	3 (32.2)	3 (32.2)	3 (32.2)	3 (32.2)
広域公園	1 (48.0)	1 (48.0)	1 (48.0)	1 (48.0)	1 (48.0)
特殊公園 (歴史・風致)	2 (11.9)	2 (11.9)	2 (11.9)	2 (11.9)	2 (11.9)
合計	143 (209.2)	144 (209.7)	144 (209.7)	144 (209.7)	144 (209.7)

※上段は公園の箇所数、下段は面積（ha）

※各面積は小数第二位（ha）を四捨五入。合計は各公園面積（㎡）の合計値。

②パークパートナーシップ実施公園数

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
実施公園数	118 (136)	119 (137)	119 (137)	119 (137)	116 (134)

※下段（ ）は都市公園以外を含めた実施数

【2】自然環境と調和した景観形成の推進

1 歴史的建造物の保存・活用と美しい環境形成

(1) 上越市歴史的建造物等整備支援事業

○支援件数

（単位：件）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	
件数	1	2	4	11	8	・ 怡顔亭主屋地震被災修繕事業 （合併前上越市） ・ 旧酢屋呉服店能登半島地震による災害 復旧工事 （合併前上越市） ・ 幸村家住宅地震被害修繕工事 （合併前上越市） ・ 高田世界館改修整備事業 （合併前上越市） ・ 高橋あめや主屋整備事業 （合併前上越市） ・ 保阪家住宅温室修繕事業 （合併前上越市） ・ 浄福寺本堂整備事業 （柿崎区） ・ 鴨井家住宅主屋茅葺屋根及び外装修繕 事業 （板倉区）

(2) 景観に関する行為の届出

○景観計画区域内における行為の届出件数

（単位：件）

年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
件数	140	131	96	79	52

【3】環境保全型農業の推進

(1) 環境保全型農業の推進

○環境保全型農業の取組実績（交付金の交付者数及び取組面積）

年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
交付者数	43 組織	39 組織	41 組織	41 組織	28 組織 (6 組織)
取組面積 (ha)	648	759	652	790	621 (71)

※令和7年度の（）内は多面的機能支払交付金による取組実績を示したもの。

※令和6年度まで環境保全型農業直接支払交付金の支援対象であった「長期中干し」や「冬期湛水管理」などの取組は、令和7年度から「多面的機能支払交付金」による支援となったため、令和7年度の実績には両交付金による取組を含めている。

第3章 地球環境

第1節 脱炭素社会への移行の推進

【1】省エネルギー化の推進

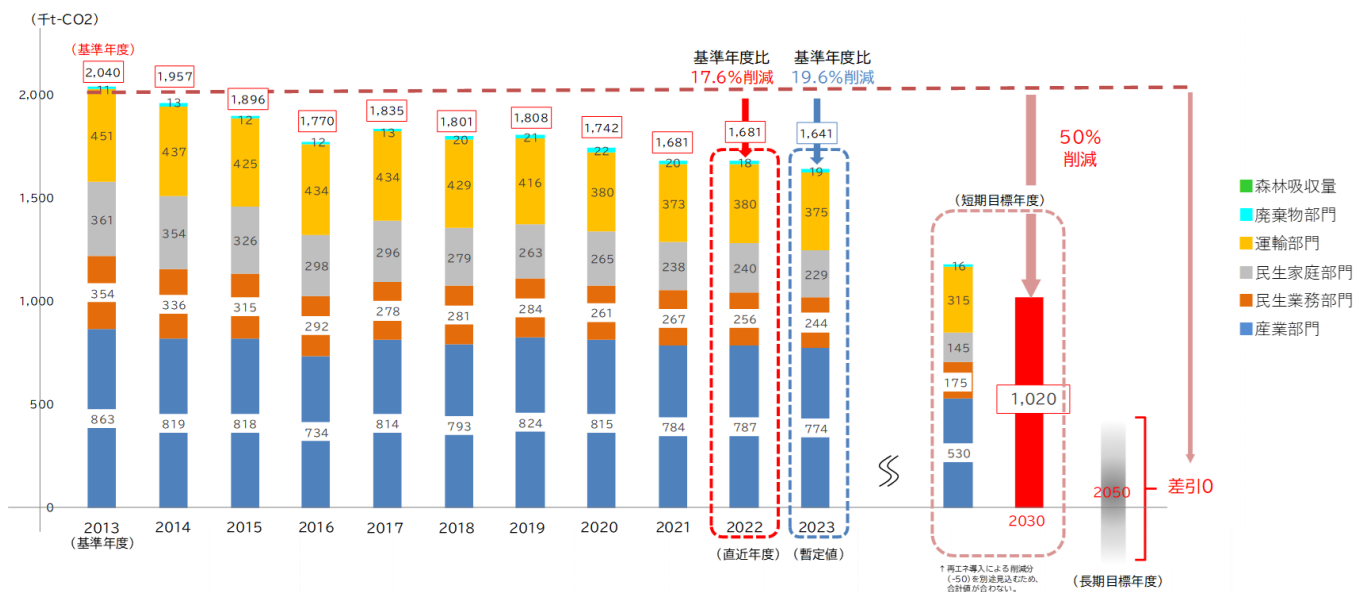
(1) 地球温暖化対策実行計画の策定

① 市全域の温室効果ガス排出量の推移

市全域の温室効果ガス排出量の算定については、国の各種統計値等を用いて算定しています。集計方法の変更に伴い統計値の一部が改定されたこと、市が独自に産業部門（製造業）の算定方法を変更したことに伴い、令和5年2月に策定した「第2次地球温暖化対策実行計画」において、温室効果ガス排出量の見直しを行いました。

2022（令和4）年度の市全域からの温室効果ガス排出量は、1,681千t-CO₂となりました。基準年度である2013（平成25）年度と比較して、359千t-CO₂（17.6%）の減少となりました。

また、暫定値ではありますが、2023（令和5）年度の市全域からの温室効果ガス排出量は、1,641千t-CO₂となりました。基準年度である2013（平成25）年度と比較して、399千t-CO₂（19.6%）の減少となりました。



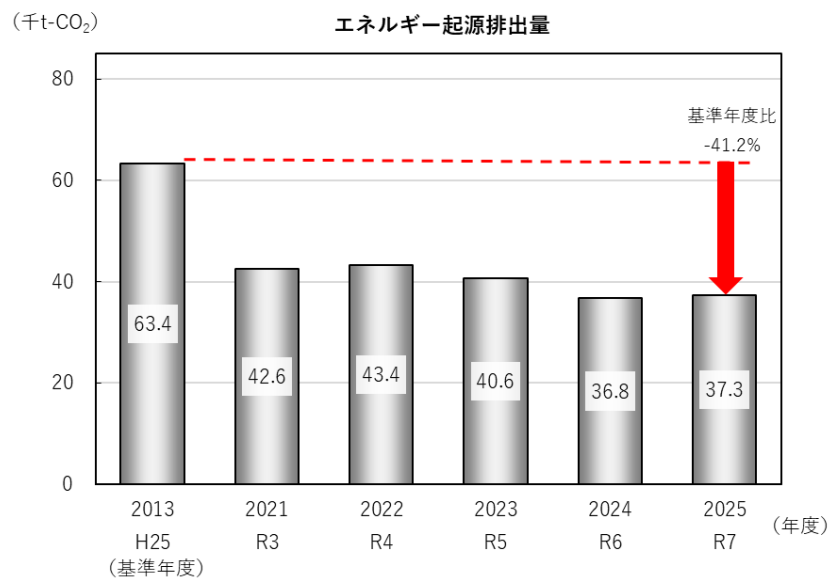
※ グラフの数値は、下から順に産業部門、民生業務部門、民生家庭部門、運輸部門、廃棄物部門の温室効果ガス排出量を表す。

※ 市全域からの温室効果ガス排出量は、国の各種統計値等を収集して算定しており、公表されるまでに数年を要するデータがあるため、直近の排出量の実績（確定値）は2022（令和4）年度（3年間の差）になります。

②市役所の事務事業の温室効果ガス排出量の推移

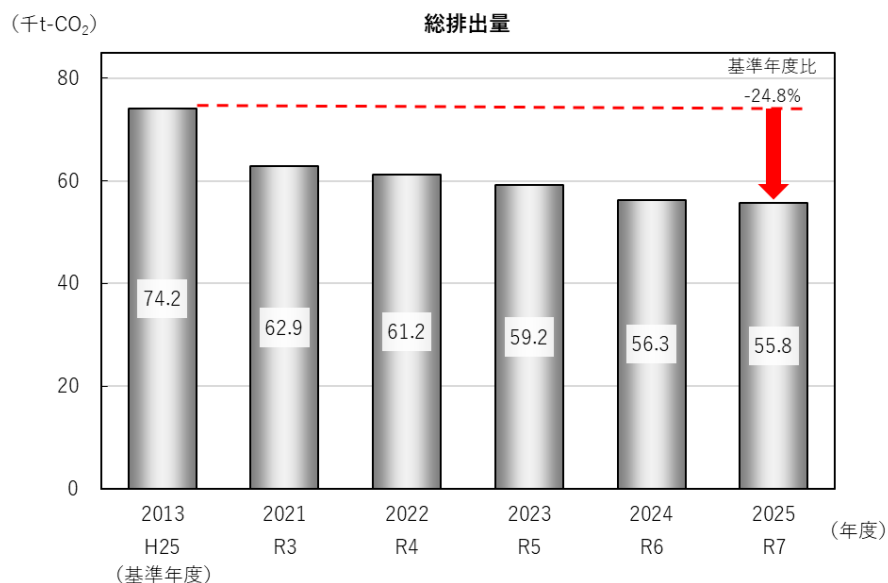
市の事務事業の温室効果ガス排出量については、電気や灯油などの使用量に排出係数（どれだけCO₂を排出しているか示す指標）を乗じて算定しています。各種排出係数は法令で定められた値を用いていますが、電気の使用に伴う排出係数については、電力会社の年次の排出係数を用いています。

2025（令和7）年度の市役所の事務事業からのエネルギー起源の温室効果ガス排出量は、37.3千t-CO₂となりました。基準年度である2013（平成25）年度と比較して、26.1千t-CO₂（41.2%）の減少となりました。



※ エネルギー起源温室効果ガスとは、化石燃料（都市ガス、石油等）の燃焼や化石燃料を燃焼して得られる電気の使用に伴って排出される温室効果ガスのこと。この他、化石燃料によらない一般廃棄物の焼却や下水・し尿の処理等による排出は非エネルギー起源温室効果ガスという。

また、非エネルギー起源も合わせた総排出量は、55.8千t-CO₂となりました。基準年度である2013（平成25）年度と比較して、18.4千t-CO₂（24.7%）の減少となりました。



(2) 省エネルギーシステムの導入

①リージョンプラザ上越の ESCO 事業導入の成果（導入前と各年度の比較）

年度	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
光熱水費の削減額（電気、ガス、水道）（千円）	26,455	31,785	31,542	26,987	28,441
二酸化炭素削減率（％）	29.6	39.0	39.8	29.1	31.0

※コロナ禍の影響により通常営業に戻っていない状況と、エネルギー価格高騰の影響で設備稼働の利用が積極的に抑制されたことに伴い、想定を上回る効果があったもの。
 ※リージョンプラザの ESCO 事業は令和5年度で契約期間終了。

②うみてらす名立の ESCO 事業導入の成果（導入前と各年度の比較）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
光熱水費の削減額（電気、ガス、水道）（千円）	34,179	31,423	32,906	37,869	39,483
二酸化炭素削減率（％）	36.2	35.4	37.9	44.3	44.9

③大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の ESCO 事業導入の成果（導入前と各年度の比較）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
光熱水費の削減額（電気、ガス、水道）（千円）	10,414	10,999	10,113	10,018	9,823
二酸化炭素削減率（％）	32.7	37.2	34.3	32.6	33.3

(3) 地産地消普及の取組について

①地産地消推進の店の認定数

（単位：店）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
認定店舗数	173	174	169	168	155

②地産地消推進の店プレミアム認定店の認定数

（単位：店）

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
認定店舗数	-	16	15	22	21

【2】再生可能エネルギーの普及促進

(1) 公共施設等における再生可能エネルギーの利用事例

区分	施設数	設置施設等
太陽光発電	16	16 施設（詳細は 107 ページ、ほか木田庁舎には屋外照明の設置あり）
小水力発電	1	柿崎川浄水場（民間のマイクロ小水力発電）
消化ガス発電	1	下水道センター
ごみ焼却発電	1	クリーンセンター
バイオガス利用	1	汚泥リサイクルパーク
下水熱利用（融雪）	1	保健センター（実験的設置、現在休止中）
地中熱利用（融雪）	3	小林古径記念美術館、上越妙高駅前広場（西口）、ガス水道局
雪冷熱利用（冷房）	2	詳細は 109 ページ
雪冷熱利用（冷蔵）	7	詳細は 109 ページ

(2) 太陽光発電

①市内公共施設の太陽光発電実績

施設名	発電出力 (kW)	発電量 (kWh)		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
雁木通りプラザ	19.5	6,975	6,594	7,743
富岡小学校	20.0	9,978	9,342	9,592
市民プラザ	10.0	10,213	9,660	10,495
南三世代交流プラザ	5.0	4,214	4,005	4,286
港町特定公共賃貸住宅	10.0	726	653	1,285
市営子安住宅1号棟	5.0	6,958	7,202	7,673
市営子安住宅2号棟	5.0			
豊原小学校（板倉区）	20.0	未計測	未計測	未計測
大町小学校	20.0	未計測	未計測	未計測
やちほ保育園	4.0	4,263	4,057	4,202
雪だるま物産館 （安塚区）	10.0	10,006	9,283	9,856
はまっこ保育園 （大潟区）	5.9	5,409	4,790	5,135
春日小学校	20.0	未計測	未計測	未計測
有田小学校	9.9	1,325	13,509	17,003
上越斎場	10.0	-	2,111	12,980
金谷公民館	3.6	-	97	2,716
16施設（15か所）	177.9	60,067	71,303	92,966

②太陽光発電の補助実績

・平成10年度～平成30年度（補助額：1kWあたり4万円、12万円限度（平成30年度））

年 度	件数	出力合計 (kW)	補助金額 (円)
平成27年度までの累計	588	2,537.92	84,028,000
平成28	82	404.34	9,598,000
平成29	69	343.47	8,221,000
平成30	72	391.62	8,567,000
計	811	3,677.29	110,414,000

・令和5年度～令和7年度（補助額：国県補助額の30%、30万円限度）

年 度	件数	出力合計（kW）	補助金額（円）
令和5	16	95.84	4,778,000
令和6	40	233.97	10,493,000
令和7	34	221.43	8,946,000
計	90	551.24	24,217,000

(3) 水道小水力発電の発電実績

○柿崎川浄水場における水道小水力発電設備の発電実績

年度	発電量（kWh）
令和4	141,736
令和5	213,045
令和6	194,137
令和7	193,231

(4) 消化ガス発電施設の導入

○消化ガス発電の発電実績

年度	発電量（kWh）
令和3	1,465,887
令和4	1,514,245
令和5	1,389,734
令和6	1,266,720
令和7	1,318,644

（注1）本格稼働開始は平成28年12月14日から。

（注2）下水道センターで使用する電力の約3割を賄っている。

(5) ごみ焼却発電施設の導入

○ごみ焼却発電の実績

年 度	発電量（kWh）	売電量（kWh）
令和3	33,284,440	26,254,184
令和4	32,046,875	25,187,631
令和5	29,495,828	22,877,197
令和6	27,752,507	20,961,209
令和7	18,134,304	11,455,832

(6) 雪氷冷熱エネルギーの利用

○雪冷熱エネルギーを利用する施設

利用 方法	施設名	貯雪量（t）
雪冷房	キューピットバレイセンターハウスレストラン（安塚区） ※ふれあい昆虫館は休館中	1,539
	安塚小学校	150
雪冷蔵	JA えちご上越「利雪型米穀貯蔵施設」（安塚区）	548
	岩の原葡萄園	330
	和田雪室（安塚区）	330
	JA えちご上越「柿崎雪室」	160
	雪中貯蔵施設「ユキノハコ」（安塚区）	90
	簡易型雪室実験施設「信濃坂の雪室」（安塚区）	70
	JA えちご上越「あるるんの杜雪室」	20
計	9 施設	3,237

※上越市で把握している施設に限る

(7) 電動車等の活用

○電動車等の保有台数

（単位：台）

区分 年度	天然ガス自動車	ハイブリッド自動車	電気自動車	プラグインハイ ブリッド自動車
令和2	7	13	2	0
令和3	7	13	2	0
令和4	7	13	3	1
令和5	7	13	6	1
令和6	7	16	8	3
令和7	7	16	10	3

(8) 新エネルギーシステムの設置支援

○ペレットストーブ補助実績

年 度	件数	補助金額(円)
平成 25 年度 までの累計	45	3,715,000
平成 26	18	1,556,000
平成 27	14	1,221,000
平成 28	10	909,000
平成 29	7	635,000
平成 30	8	724,000
計	102	8,760,000

(注) 開始年度：平成 21 年度、補助額：1/5、10 万円

【3】拠点形成と交通ネットワークの構築

(1) 大規模開発の適正化

○大規模開発行為に係る開発協定の締結件数

(単位：件)

年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
件数	0	0	0	0	0

(2) 庁用自転車の導入

○庁用自転車の使用状況

区分\年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
利用件数 (件)	284	182	202	155	112
延走行距離 (km)	371.2	346.4	276.7	248.2	160.5
走行距離 1km 当たりの換算値 ※ (ℓ/km)	0.05291	0.05154	0.05050	0.05025	0.05025
燃料削減量 (L)	19.6	17.9	14.0	12.5	8.1
台数 (台)	3	3	3	3	3

※出典先：国土交通省「自動車の燃費性能に関する公表」より

第2節 持続可能な循環型社会の形成

【1】ごみ減量・リサイクルの推進

(1) 廃食用油再生化事業

○ 廃食用油の回収実績

(単位：L)

年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
回収量	6,986	6,360	4,720	4,415	3,868

第4章 環境学習

第1節 環境啓発の推進

【1】環境学習の推進と事業者支援

1 啓発活動

(1) 環境フェアの開催

○環境フェアの実施状況

年度	開催日	来場者数 (人)	テーマ・出展者数
令和3	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 (代替イベントとして環境フェアポスター展開催)		
令和4	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 (代替イベントとして環境フェアポスター展開催)		
令和5	6月25日	715人	「ストップ温暖化～始めよう ぼくたち わたしたちができること～」 出展団体・企業数：17団体等
令和6	6月30日	1,152人	「ストップ温暖化～始めよう ぼくたち わたしたちができること～」 出展団体・企業数：17団体等
令和7	6月29日	1,123人	「ストップ温暖化～始めよう ぼくたち わたしたちができること～」 出展団体・企業数：17団体等

(2) 地球環境学校

○地球環境学校プログラム利用人数 (単位：人)

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
人数	3,882	2,507	3,334	2,681	2,280

(3) 「環境出前講座」の実施

○環境出前講座実施状況

年度	回数	講座内容	人数(人)
令和3	8	川学習	258
令和4	8	川学習	278
令和5	11	川学習	496
令和6	17	川学習	805
令和7	11	川学習	294

(4) 環境学習会の開催

○環境学習会の実施状況

(令和 7 年度)

実施月	対象	テーマ	人数 (人)
4 月	市民 (環境団体との連携事業)	海浜植物・海洋ごみ	20
5 月	市民 (新潟県との連携事業)	グリーンカーテン 地球温暖化	25
5 月	高志小学校 環境委員 (新潟県との連携事業)	グリーンカーテン 地球温暖化	20
6 月			20
6 月	高田特別支援学級	地球温暖化 ごみの減量	11
8 月	市民 (長野市との連携事業)	海洋ごみ 自然環境	15
10 月	市民 (環境団体との連携事業)	海浜植物・海洋ごみ	11
10 月	市民	エネルギー	13
合計			135

(5) 環境イベント等への参加

○環境イベント等への参加状況

(令和 7 年度)

実施月	イベント (主な実施内容)	人数 (人)
4 月	みどりのフェスティバル (エコクイズ、パネル展示)	378
5 月	サイエンス広場 (パネル展示)	-
6 月	環境フェア (エコクイズ、パネル展示)	400
11 月	いつものもしも Caravan (電気自動車の展示・給電)	-
11 月	青少年のための科学の祭典 (燃料電池車を用いた実験、パネル展示)	315
合 計		1,093

※人数は、体験ブース来場者数

【2】市民、事業者との協働による取組の推進

1 環境マネジメントシステムと市の取組

○法令遵守状況

法令の名称	適用項目	対象施設等		測定数	適合数	法 基準値 不適合	自主 基準値 不適合
		名称	数				
廃棄物処理法ほか	浸出水、地下水	一般廃棄物最終処分場 (薬師山埋立地 ほか)	2	24	23	0	1
廃棄物処理法	汚泥、焼却灰及びばいじん	一般及び産業廃棄物 (上越市クリーンセンターほか)	11	93	93	0	0
大気汚染防止法	ばい煙	廃棄物焼却炉、ボイラー (上越市クリーンセンターほか)	12	24	24	0	0
悪臭防止法ほか	悪臭	悪臭原因物 (上越市クリーンセンター、汚泥リサイクルパーク)	2	3	3	0	0
騒音規制法ほか	騒音	圧縮機、ポンプ、送風機等 (柿崎コミュニティプラザ、雁木通りプラザほか)	65	86	86	0	0
振動規制法ほか	振動	圧縮機、ポンプ、送風機等 (教育プラザ、高田図書館ほか)	35	55	55	0	0
水質汚濁防止法ほか	排水ほか	排水処理施設 (下水道センター、農業集落排水処理施設ほか)	54	592	591	0	1
下水道法	排水	下水処理施設 (下水道センター、浄化センター)	7	84	84	0	0
ダイオキシン類対策特別措置法	排ガスほか	上越市クリーンセンター	1	8	8	0	0
労働安全衛生法	ダイオキシン類	廃棄物焼却炉 (上越市クリーンセンター)	1	2	2	0	0
肥料の品質の確保等に関する法律	有害物質	汚泥肥料 (汚泥リサイクルパーク)	1	1	1	0	0
県公衆浴場の配置、衛生措置の基準条例	水質	浴槽水 (八千浦交流館はまぐみ)	1	6	6	0	0
フロン排出抑制法	第1種特定製品	エアコン等	261	1024	1024	0	0
計			453	2,002	2,000	0	2

○自主基準値不適合の状況

法令等の名称	施設名	不適合の状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	柿崎区車地最終処分場	地下水測定において、水質自主基準超過（過マンガン酸カリウム消費量）
水質汚濁防止法	清里区東戸野地区農業集落排水処理場	放流水測定において、水質自主基準値超過（pH）

2 事業者の環境マネジメントシステム

エコアクション 21 認証取得支援説明会

○市内事業者の支援説明会参加事業者及び認証取得数（単位：事業者）

年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
参加事業者数	1	0	2	2	0
認証取得事業者	11	11	12	12	13

※令和 3 年度からはエコアクション 21 地域事務局の上越環境科学センターが支援説明会を開催しています。

3 市内企業等の ISO14001 認証取得状況

○市内企業等の ISO14001 認証取得数（単位：事業者）

年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
認証取得事業者	28	29	29	29	25